

WE しもやま LOVE



令和6年度 下山地域会議のあゆみ

地域会議は、地域住民が委員として参加し、地域の様々な意見を集約・調整し、市民と行政の共働によるまちづくりを推進する組織です。

現在の第10期下山地域会議は、2つの分科会を設置し、「地域課題の解決に係る行政への提言」に向けて協議を行っています。それぞれの分科会について、正副会長にお話を伺いました。

分科会1…下山で暮らし続けるための「共有財産（農地・山林・空き家）の維持管理」

川合輔宏会長：「共有財産の維持管理」というテーマについては、第9期会議から継続協議しているテーマです。私たちは、共有財産の中でも「農地」に焦点を当て、適切な維持管理について協議をしています。

なぜ農地かという点、人口減少や担い手高齢化に伴い、急激に下山でも耕作放棄地が増加していることを実感しているからです。分科会で議論を始めたとき、農業に従事している委員とそうでない委員が半分ずつの構成となりました。最初は、農業に従事していない委員からは不安の声もありましたが、今では農業従事の有無にかかわらず、下山の共有財産である農地を守るため皆で協議しています。同じように下山地区のみなさんが関心を持っていただけると、この難題にも光が見えてくると信じています。

分科会2…下山で暮らし続けるための「持続的な地域社会づくり」

川合成幸副会長：「持続的な地域社会づくり」というテーマについては、自治区をはじめとした地縁組織について学ぶところから始めました。下山地区においては、7つの「自治区」の構成組織として27の「組」があります。地域会議では自治区と組、それぞれが現状どのような活動をしているかの把握と、個別にどのようなお役が負担になっているかを調査しています。

実際にお役を務めてくださっている方の生の声をお聞きすると、お役の仕事に負担を感じているというご意見がありました。地域のためにお役をしてくださっている方の負担が減るように、そして次世代の方が地域のためにお役をしてみようと思ってもらえるように、地域に体力があるうちに難しい問題とは向き合っておかないといけないと感じています。



▲分科会2のグループワーク

【下山地区の皆さまへのメッセージ】

川合輔宏会長：現在、下山地域会議で議論しているテーマは難しく、我々もお腹一杯になりながら一生懸命学んでいます。なぜなら、中長期的に下山にとって、避けては通れないテーマだと感じているからです。
あなたのまちの地域会議委員に是非、貴重なご意見をお聞かせください。



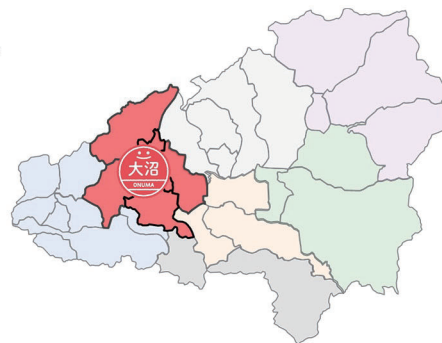
▲川合会長と川合副会長



下山地区自治区紹介（自治区リレー 大沼）Vol. 6

下山地区は7つの自治区に分かれています。各自治区の魅力を発信していきます。第6回目は、大沼自治区を紹介します。

大沼自治区…5つの組で構成され、世帯数407世帯（令和7年1月時点）です。



今回は、大沼自治区長の鈴木雅弥さんにお話を伺いました。

Q.大沼自治区はどのようなところ？

下山地区の中心的地域に位置し、こども園・小・中学校や公共施設、医療機関などが近くにあり、豊田市の街中やお隣の岡崎市までは車で30分ほどと生活の利便性が良い地域です。大きな薬局もできましたが、昔ながらの商店街もあり生活には困りません。

大沼の歴史は古く、史跡を中心に自然発生的に形成されてきた商店街周辺には戦国時代の城址跡や弘法堂などの史跡が多数存在しています。

9月に行われる熊野社例大祭では、大沼自治区在住の若い世代が雅楽の練習を行い、演奏、奉納しています。大沼小学校では授業の一環として雅楽を取り入れており、後世に残るよう伝統芸能の継承に取り組んでいます。大祭に関わらず、大沼自治区の行事では地域の住民同士がふれあうことを大切にしており、高齢者から子どもまで幅広い世代が参加し交流することができています。



▲熊野社例大祭での雅楽の様子



▲八沢の丘ひろば

Q.大沼自治区プランはどのようなプラン？何してるの？

大沼自治区プランでは、5つの取組があります。①定住・移住の促進、②高齢者の生きがいづくり、③子どもや子育て世代の支援、④大沼の歴史・文化の保存と継承、⑤大沼まちづくりの推進です。③の取組では、公園整備委員会を立ち上げ継続的に手を入れて、交流の場である「八沢の丘ひろば」を整備しています。整備には地域住民だけでなく、地域外の方に協力してもらい、交流を深めながら進めることができました。今後も八沢の丘ひろばを中心に多世代交流が盛んな地域を目指していきます。

自治区長から一言！

大沼自治区には昔から続いている商店街があります。その近くで4月末に弘法まつりが行われ、点在している弘法さんをお参りすると、おやつをいただけます。弘法山を登るとゴールとなります。ゴール後には「よくがんばったねえ」「きてくれてありがとう」などと地元の諸先輩方から労ってもらうことができます。さりげなく、あったかい心遣いで地元を大切にしている皆さんが大沼にはたくさんいます。



まちやの突撃！？隣のしもやまファンVol.7「大島 亜美さん」

このコーナーは、地域記者まちやの連載コラムです。下山に移住・定住された方たちを紹介するとともに、移住・定住者が感じている下山の魅力を発信して、住民の皆さまに下山地区の魅力を再発見してもらうことを目指しています。第5回は、和合町に移住された大島亜美さん取材しました。

【大島亜美さんのプロフィール】

大島さんは、岡崎市に生まれ、4年前まで岡崎市に住んでいました。大人になってからはイベントコンパニオンやモデル、アパレルのお仕事を経験し、友達に「ヨガの先生っぽいよね」と言われたのがきっかけでヨガを習いに行くことになりました。そこからヨガの資格を取得し、ヨガインストラクターとして活動して、今年で12年目になります。下山地区内では、大聖寺や常楽寺などで、お寺ヨガの活動を行っています。また、岡崎、西尾など県内各地やオンラインヨガなどでも活動中です。



▲亜美さんとヨガポーズ

【しもやまに移住したきっかけ】

下山にあるお菓子屋さん「ニワトリトヤギト」を営んでいる福山さんのお宅に遊びに来た時に、家の前の自然の豊かさに感動しました。朝起きてこんな景色がみれるなんて最高～！と思ったことから下山を気に入り、遊びに来る度に空き家見学をしたり、小学校を見に行ったりして、だんだんと下山に住むイメージがつき移住を決めました。福山さんの下山愛が伝わってきたことと、お友達がいる安心感も移住のキッカケです♪

【趣味のヨガについて】

ヨガとはかけ離れた不摂生な生活をしていた時に、ヨガと出会いました。身体の細かい感覚や心の動き、人の素晴らしさを知り、自分をちゃんと大切にしようと思いました。ヨガを続けていくうちに、身体も心も関わる人も全てが心地良くなっていきました。



▲ヨガポーズの大島亜美さん

【亜美さんからしもやまの好きなところをひとこと！】

空間・人・自然が豊かなところが大好きです！

下山は、とても静かで住んでいるだけで四季を感じられ、心が穏やかになります。

また、近所の方や地域の関わる方皆さんにとっても良くしてもらっています。

子育て環境の面では、小中学校への通学は、バスの送迎がある地域のため安心して送り出せます。

様々な面で、下山に移住してきて良かったと感じています。

取材・記事：川合真裕(まちや)：平成4年生まれ。小・中・高校と卓球に明け暮れる毎日。羽布建設の家業を継ぐため現在奮闘中。下山を盛り上げたいという想いを持った同級生5人組「Village Fan's Co.」代表。現在、里楽暮住(りらくくす)しもやま会の委員に就任しています！





わくわく事業団体紹介 花山自治区振興部健康促進隊

事業名：第2回花山「あせび」てくてくウォーキング

事業概要：昨年度、花山自治区内で開催し、ご好評いただいたウォーキングの第2回目を開催します。今回は参加者募集範囲を下山地区全域に広げ、参加者を募集します！

コース：植樹した「あせび」の成長を観賞しつつ、トヨタテクニカルセンター下山沿いをウォーキングします。今回は下山の史跡、「蛇ねぶり岩」を観賞することも出来ます。上半身を鍛える竹を使ったウォーキングも体験できますので、交流を図りながら歩きましょう。

応募方法：1月に各戸回覧した参加申込書をご記入の上、区長・組長へ提出してください。

参加者募集！



▲史跡「蛇ねぶり岩」



三河湖テラスこりんで湖と森の音楽会開催しました

12月14日（土）、リニューアルオープンした三河湖テラスこりんでの初めてのイベント、「湖と森の音楽祭in三河湖」を開催しました。この音楽祭は、自然豊かな三河湖を背景に、音楽を聴きながらゆったりとした時間を過ごしていただきたいと企画し、午前の部・午後の部合わせて約60名の方が参加されました。午前の部、アイリッシュミュージック演奏会では、ヴァイオリンやブズーキ（弦楽器）、バウロン（ドラム）といったアイルランド本場の楽器を用い、自然の中に響く軽快な演奏に魅了されました。午後の部、ジャズ&ボサノバでは、鮮やかな歌声とリズムの良いピアノが、会場全体を暖かな雰囲気に包み込みました。

参加者からは、「太陽に反射する湖面や落葉が舞う自然の景観が音楽と絶妙にマッチしていて、贅沢な時間を過ごした」「次回もぜひ参加させていただきたい」といった感想がありました。



▲午前の部の様子
(アイリッシュミュージック)



消防団と下山出張所が合同訓練を行いました

下山出張所は、地域防災力の向上及び連携強化を目的に、12月8日に消防団と合同で大規模災害対応訓練を行いました。この訓練では、近年多発する土砂災害の対応力を強化するために、チェーンソーや爪付きジャッキを用いて、倒壊家屋の下敷きになった人を救出するまでの一連の流れを訓練しました。地域の災害に対応するためには、消防団の力が必要不可欠です。みなさんもぜひ消防団に入ってみませんか？

また、空気が乾燥し火災が多くなる季節になってきました。火災を発見した場合は、早期119通報と消火活動にご協力をお願いします。火の勢いが強い場合は、消火栓とホース格納箱を使った初期消火が有効です。使い方の説明動画を作成しましたので、右の二次元バーコードからご覧ください。



▲合同訓練の様子

消火栓とホース格納箱の説明動画 ▶





厳冬期になり、路面の凍結が心配がされるこの頃。皆さんは安全運転に十分注意していますか？第9回は、ミンミンさんに運転技術を高めるための練習方法や冬の運転時に気を付けている安全運転の心構え、注意点についてお話を伺いました。



本名：洪銘蔚（ホン・ミンウイ）
下山地区在住のラリードライバー
豊田市わがまちアスリート



▲冬用の装備一覧

Q：今はオフシーズンだと思いますが、練習はどうしていますか？

A：雪道での走行練習をするために、日本各地の雪道走行会に参加して腕を磨いています。また、車両整備をするのもこの時期ですね。

Q：冬用に備えている装備はありますか？

A：ラリーならではの装備になりますが、スコップやT字ワイパー、ガソリン携行缶などを積載しています。雪道で動けなくなった際に、自力で動かせるようにするためです。個人的な必需品は、車内用加湿器です（笑）。冬は肌が乾燥するので大事ですね。

Q：タイヤが滑ってしまった際の対処法などがありますか？

A：ABS（アンチロック・ブレーキシステム）付きの車の話しになりますが、しっかりとブレーキを踏むことが大事です。慌てて、ハンドルを回しすぎてしまうことには注意してください。エンジンブレーキを使うのもいいですね。AT車でもセカンドシフトが付いてると思うので、カーブ手前では早めに減速してゆっくりと曲がるように意識してくださいね。



▲走行会で練習した際の一枚

【今回の学び】エンジンブレーキは普段から意識していないと咄嗟には使えないので、坂道などで日頃の運転から意識して使ってみようと思いました。長い下り坂において、フットブレーキを踏み続けると焦げた臭いとともにもブレーキが効かなくなってしまうトラブルが起きる可能性があるとのことなので、エンジンブレーキとの併用が必要になると学びました。

下山地区データ

人口
3,928 人
(-79)

男性
1,961 人
(-30)

女性
1,967 人
(-49)

(1月1日現在)
※（）は前年同月比
世帯数
1,646 世帯
(11)

発行者情報

編集・発行

お問い合わせ

豊田市政府下山支所（〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1）
毎月15日発行
TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344
MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp

地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか！





【 社協下山支所だより 】

まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL:0565-90-4005 / FAX:0565-90-2419 / MAIL:shimoyama@toyota-shakyo.jp

身体も心も元気で暮らそう



健康・福祉

健康講座&デイサービス参観日を開催しました

12月16日(月)、健康講座(地区コミュニティ会議福祉ふれあい部会との共催)とまどいの丘デイサービス参観日を開催しました。

全国各地で大活躍の『ごぼう先生』を講師にお招きし、介護予防や元気につながる講話・体操を行っていただきました。参加者のみなさんは、ごぼう先生の世界に引き込まれ、終始笑顔のひと時でした。



▲ユーモアと体操を交えた講話で、会場は大盛り上がりでした。



▲ごぼう先生と記念写真！皆さんの笑顔が輝いています♪



▲参観日では、作品展示も行いました。

身体も心も元気で暮らそう



健康・福祉

共同募金へのご協力ありがとうございます

令和6年10月1日より令和7年3月31日の期間で受け付けております『赤い羽根共同募金』へのご協力ありがとうございます。住民の皆さまや各小中学校、法人等企業より409,797円(令和7年1月7日現在)の募金をお寄せいただきました。この募金は、下山地区にお住まいの皆さまのために実施する様々な事業へ活用させていただきます。引き続き、あたたかいご協力をお願いいたします。

○ご協力ありがとうございました○

下山地区にお住まいの皆さま・下山中学校・大沼小学校・巴ヶ丘小学校・花山小学校・阿蔵工業・伊藤設備・大竹商店・大沼タクシー・大盛技建・荻野歯科医院・加藤建設・香恋の館・こうや・後藤建築・澤組・下山の里・西三交通・羽布建設・平瀬ヤナ・まどい・マルコ・山遊里・地区内募金箱協力店(敬称略・順不同)

▲花山小学校企画委員会のお二人より、お預かりしました。





ロビー展示

〈令和6年度出展一覧〉 令和6年4月～令和7年1月



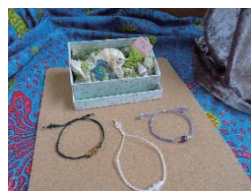
小幡美津子 作
つまみ細工



里いものうち 作
折紙、袋物、他



よつば会 作
布小物



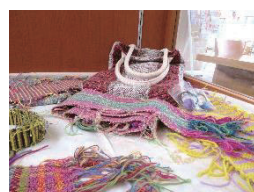
平石 東 作
まくらめ、他



清水 遥貴
ミニカー



ぬくもりはうす*manmo 作
がま口



Licorice 作
織物



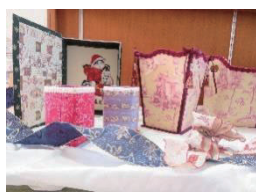
悠遊 作
木彫



JA あいち豊田女性部 作
クラフト、他



しもやまラリー実行委員会
ミニカー (WRC)



アトリエエリカ 作
カルトナージュ



次井みな子 作
バッグ、染め物

講座報告

「市民のやりたい気持ち応援講座」

下山地区放課後児童クラブ合同お楽しみ会

12月25日(水) 参加 50人

下山地区放課後児童クラブ
3校のお楽しみ会が総合野外
センターにて行われました。
アスレチックで思いっきり遊
んだ後、炭で焼いた焼き芋や
マシュマロを食べました。



日頃、経験できない他校
児童と交流し、子どもた
ちの笑顔がたくさん見ら
れた会となりました。

今後の予定

2月

【自主グループ】
手編みサークル
編み物小物、他

3月

【自主グループ】
なごみの会
パッチワークキルト

★ ロビー展示 申込募集中 ★

詳細は下山交流館窓口まで。

自主グループ報告

【下山囲碁・将棋クラブ】

新春囲碁・将棋大会

1月5日・11日

両大会優勝者 高木龍二さん



【ささゆりしもやま保存会】

12月14日(土) 柴田園
芸にてささゆりの種の植え
替え作業を行いました。





土雛(土人形)

絵で文をあらわす人形

昔はのどけいではお雛ごいは土人形。土雛はお百姓の神さんと言われ、最初の女の子だけでなく、くぐりにも男の子にも買いつけて飾ったよ。その頃の楽しみといえば村歌舞使。はりの演目があり役があつても水が土人形になつたあを親は子に可愛がられる子に育て、強い子に育てる願いを込めよになにかいい人形を持たせてやりたくて買って飾つたんだよ。今で言う人気キャラクターのフィギュア、人気の土雛はこなのがあつたよ。

ちやうど2月23日(回)〜3月2日(回)まで和合町の大聖寺で古いお雛様や土雛を本堂いばいに展示して誰にでも見せてくれるよ。見たい人は本物を見てみて、昔から子どものはお雛をいばに見せて〜と喜んで見て回つてよかつたんだよ。

静御前

頼朝に追われる義経を愛し捕えられても頼朝の前で義経を慕う舞を舞う強い女性



源義経

鎌倉幕府 将軍源頼朝の弟。数々の軍功を上げたが頼朝に嫌われ悲劇の英雄と人気の武将



牛若丸

義経の幼名。少年時代に弁慶と出会う。お話が色々あるよ。



大石良雄(大石内蔵助)

殿様を理不尽に切腹せられたくして赤穂の家老他47士の仇討ちの物語



子守

清元の舞踊から創作されたものか...



弁慶

この形は歌舞伎「勧進帳」の場面。弁慶は少年牛若丸に心打たれ一生を義経に捧げた。



平敦盛

手に持つ笛は鳥羽法皇。ゆかりの小枝の笛。少年敦盛は平清盛の甥で鳥羽の名手。一谷合戦で敗走の折源氏方熊谷直実と深く一騎打ち、首を取られる。熊谷直実は戦場ゆえのためいつも我子様の少年に手をかけてしまつ。直実は後に出家した。



熊谷直実



◎敦盛の話と題材に

生まれた幸若舞「敦盛」は織田信長が好んで舞た。人間五十年化天の内にくらぶは夢幻の...だよ。奥の深い土人形の世界を楽しんで下さい。